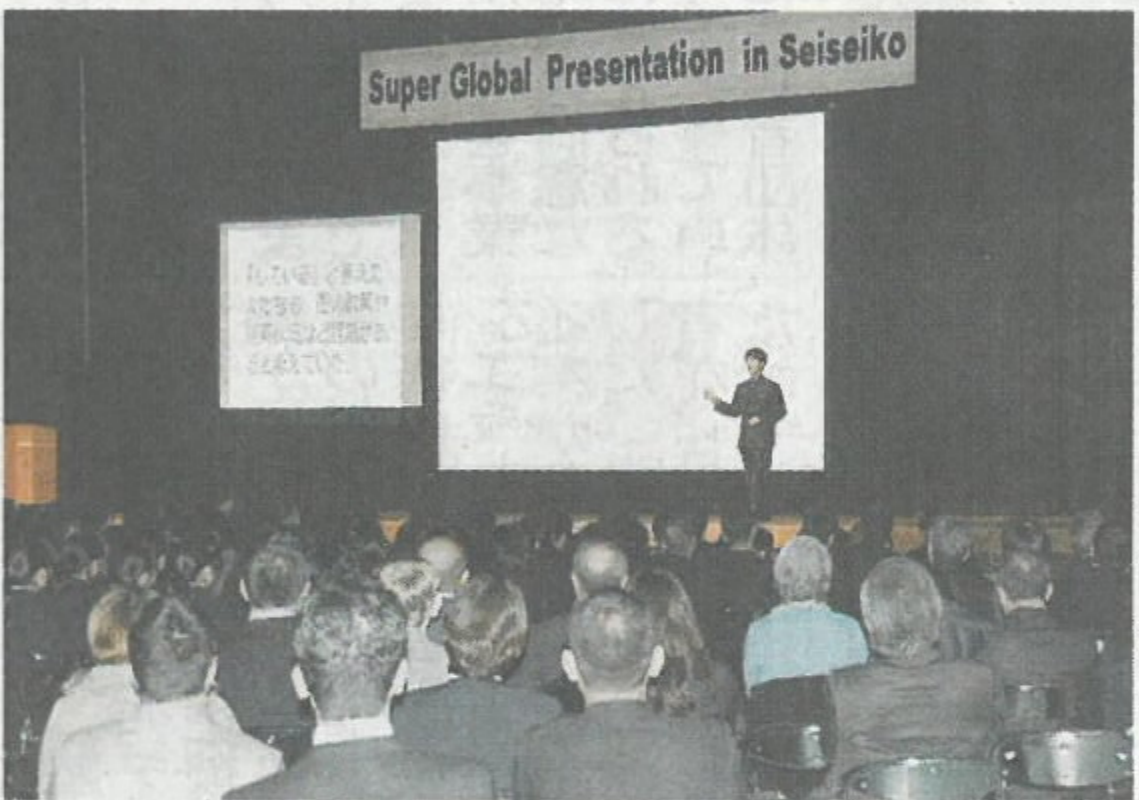


英語で討論・研究発表

济々覺高生が活動報告



スーパーグローバルハイ
スクールの中間報告会。
環境問題の研究成果を生
徒が英語で発表した。18
日、熊本市中央区の济々
覺高

ではない」など肯定、
否定の双方が根拠を示
し、意見を戦わせた。

「地球環境保全の在
り方」の研究報告では、
「開発と自然保護のど
ちらが重要か」などに
ついて、生徒らが自身
の考えや研究成果を英
語でプレゼンテーショ
ンした。(福井一基)

世界で活躍する人材
育成に取り組む「スー
パーグローバルハイ
スクール(SGH)」に
2014年度から指定
された济々覺高(熊本

市中央区)が18日、1
年間の活動を発表する
中間報告会を開いた。

SGHは、コミュニ
ケーション能力や国際
的な素養を身に付けた
リーダーの育成を目指
し、文部科学省が5年
間指定。県内で唯一指
定された济々覺高は本
年度、ディベート講座
などに取り組んだ。

報告会は生徒が全て
英語で進行した。即興
型ディベートは「(ご
みを)ポイ捨てした生
徒を退学にすべきか」
がテーマ。「ポイ捨て
が故意か不注意か判断
できない」「環境に悪
く故意かどうかは問題